

学校の教育活動から

○教育実習の先生方との5日間

先週の7日(月)から11日(金)までの5日間、1年生を中心に3年生や5年生のクラスに教育実習のみなさん6名が入り、学習指導の在り方を学んだり、子どもたちと触れ合ったりしました。実習の皆さんは「子どもたちが素直でかわいい」「全学年の子どもたちが一つの仲間になっているように感じます」と感想を述べていました。最終の金曜日には1年生の学級でお別れ会をし、子ども達も実習の皆さんも涙と笑顔でいっぱいになっていました。実習の皆さんにとって、教職を志す気持ちが高まるとともに、本校の子ども達にとっても心に残る5日間になったようでした。



お知らせ

○椅子の足にテニスボール?!

全学年の子どもたちの椅子の足にテニスボールを付けています。実は、子どもたちが椅子に座ったり、椅子から立ち上がったるとき、椅子を引きずる音がうるさく、子ども達の学びに支障をきたすことがよくあります。その音がしないように、できるだけ静かな学びの環境を整える上で、テニスボールを取り付けさせてもらいました。上記の実習生の皆さんが放課後に取り付けてくれました。子ども達は「音がしないし、何だか座り心地がいいです」と好評のようです。子ども達の集中した学びに少しでもつながってくれたら嬉しいです。



感じたことから

○生活の姿が学習に…

現在、3年生の図工の学習を担当し、指導をしています。先々週から「マグネット・マジック」という工作をしています。子どもたちは、磁石の力を使った動くおもちゃづくりをとっても楽しんでいるようです。工作キットの中にある材料を用いて、自分なりに工夫しながら作成していきます。作り方は工作キットの図面に書いているので、それを見ながら丁寧に組み立てていく必要があるのですが…

「見本の写真を見れば、作り方を見なくてもできますよ!」と自分なりに、どんどん進めていこうとする子もいました。しかし、しばらくすると…「あれ?」と首を傾けたり、切ってはいけない箇所を切ってしまう「長さが足りません…」などと困った状況に陥ったりしてしまう子もいました。『早く作りたい』という気持ちが先走って、大事な部分を見落とししたり、勝手に解釈してしまったりした結果、後から苦労していたようです。待ちきれない気持ちも分かりますが、そこは、落ち着いて丁寧に作っていくことが大事だったようです。

様々な教科の学習において、子どもたちが問題を解く際にも似たようなことは起こりがちです。

例えば、問題文をさっと読んで、『正しいものを選ぶんだな!』と思い、選択肢の中から、真っ先に見つけたものを一つ選んで記入し、『できた!』と思って、次の問題に移ってしまいます。しかし、問題文には「正しいものをすべて答えなさい」と書いてあったのです。



答え自体の知識はあるのに、問題文を思い込みで読み飛ばしたせいで失点してしまうというケースです。わからなかったのではなく、慌てて決めつけたことが、残念な結果を招いてしまったのです。

こうしたことは、日頃の生活の姿が大いにかかわっているように思いました。お家の方や学校の先生のお話を「わかった、わかった」と決めつけたり、自分のしたいことだけに気持ちを向けて大切なことを聞き逃したりする生活態度は、勉強にもつながっているようです。

“思い込みや決めつけ等で先走る気持ちが生じても、それを抑えつつ、落ち着いて行動(丁寧に読む・しっかり聞く)しようと心がけること”は、学びを高めたり、高めた力を発揮したりする上で、大切なことのように思いました。